あきたの

经展学習



まなびピア21

vol.46

今回は秋田県立美術館と秋田県公民館大会を中心に紹介します

秋田県立美術館本オープンについて

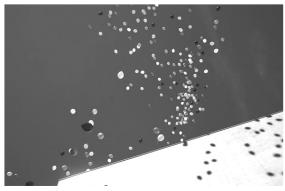
秋田県教育庁生涯学習課新県立美術館事業推進班 学芸主事 大塚昌和

2013年9月28日、爽やかな秋晴れのもと新しい秋田県立美術館が本オープンいたしました。なかいち広場で行われた開館記念式典には、佐竹敬久秋田県知事、県立美術館の高階秀爾美術顧問らが出席し、穂積志秋田市長、原口宰東日本旅客鉄道株式会社常務取締役等来賓約100名が参列しました。

記念式典は、秋田南高校吹奏楽部による記念演奏で幕を開けました。さらに秋田県民歌を同校伴奏とともに二ツ井中学校教諭山木亮氏の独唱で花を添え、テープカットには中通小学校児童代表や秋田南中学校生徒会長も参加した盛大な式典となりました。テープカットに合わせ、聖霊女子短期大学付属幼稚園園児がカラフルなバルーンを澄み切った青空に舞い上がらせ、園児の歓声が開館を待ちわびた美術ファンの耳に心地よく響き渡りました。

記念式典後に、美術顧問の高階秀爾氏の「フランス人を驚かせた日本人画家・藤田嗣治」と題した講演をにぎわい交流館多目的ホールで開催しました。約350名の聴衆に藤田とフランスで実際に会ったエピソードや藤田が乳白色の時代から壁画を制作するに至った画歴等を分かりやすく解説していただきました。この様子は、なかいち広場でも同時中継し、100名程の方にご覧いただきました。





華々しくオープンを飾った美術館で、開館記念特別展「壁画≪秋田の行事≫からのメッセージー藤田嗣治の1930年代-」を11月10日(日)まで開催しました。この展覧会では幻の美術館構想、制作現場となった米蔵の調査成果を紹介、さらに藤田の絵画技法が乳白色から多彩な色彩へと変容する1930年代の作品群を科学調査の成果とともに解説しました。また、≪大地≫(公益財団法人ウッドワン美術館蔵)、フランスパリにある連合国クラブに展示している≪花鳥図≫の複製パネルも展示し、美術館全館を使った特別展となりました。

また、セカンドスクールやアートスクール等の学びの場として、そして県民の皆様が文化を発信する場として県民ギャラリーの貸し出しも行っていきます。県民ギャラリーの貸し出しは来年の4月から開始します(受付は今年の10月から)。旧美術館が担ってきた役割を継承し、さらに県民の皆様が何度も訪れ、愛され親しまれる美術館となるよう努めて参ります。

開館記念特別展後の展覧会は、以下の日程で開催を予定しています。

- ■「あっぱれ北斎!光の王国展」11月16日(土)~12月15日(日)
- ●「村山留里子展『果てしなく近い楽園』」12月21日(土)~2014年2月2日(日)
- 「藤田嗣治渡仏100周年記念レオナール・フジタとパリ1913-1931展」 12月7日(土)~2014年2月2日(日)
- ●「甘粛省文物展」 2014年2月15日(土)~3月23日(日)

『平成25年度秋岡県公民館大会』

8月20日 大館 市

大館市中央公民館 館長補佐 佐藤和浩

未曾有の大災害と言われた東日本大震災から2年が経過しましたが、未だ、被災地の復興への道のりは大変厳しい状況 にあります。また、今年は、日本海中部地震から30年の節目の年でもありましたので、テーマを「公民館と地域ぐるみの防災」 に決定し、今までとは視点を変えた公民館のあり方について、研修する大会となるよう心がけました。

基調講演 「ひまわりのちから」

講師:釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員長 日景賢吾氏

「ひまわりのちから」は、今から4年前に釈迦内小学校で「学校がその地域 の源となる場所になろう」をスローガンにスタートしたのが始まりだったよ うです。初年度、10αの畑に、ひまわりの種を蒔き、その種からひまわり油 が50本(200 mℓビン)とれたそうです(現在は、7種類のビンに600 ℓ)。こ の活動が、東北経済産業局の小中学校部門の大賞を受賞し、これを機に町内 会・婦人会・中学校・幼稚園等で「釈迦内サンフラワープロジェクト実行委 員会」が組織され、ひまわりを中心とした新たな地域連携の広がりが続いて いるとのことでした。参加者は、大会のテーマについて、地域連携を考える 上でのヒントを沢山つかんだようでした。



シンポジウム/テーマ「公民館と地域ぐるみの防災」

報告では、大館市立第二中学校の伊多波卓美教諭から、同中学校が、平成23~24年の2年間、内閣府の防災教育チャレン ジプランの助成を受け、実施した地域連携を見据えた防災教育の取り組み状況について、報告いただきました。特に「助 けられる人から助ける人へ」をキーワードにした取り組み「二中」・「防災」・「チャレンジ」の頭文字をとった「NBC」 の活動は、これまでの学校教育では考えられないような取り組みで、興味深いものがありました。八戸市白銀振興会の松 本征勝副会長・八戸市白銀公民館協力会の伊藤兵悦副会長両氏からは、3.11の体験談から「インフラは全部止まる」、「役 所を待っていても始まらない」等、公民館を地域の人達で避難所運営した被災地の生の声を聞かせていただきました。終 わりに、8月9日の豪雨や台風18、26号などによる被害が各地で発生しており、今回の講演、シンポジウムが「公民館・ 地域・防災」を考える上での参考になれば幸いです。

9月13日 横手市

秋田県教育庁南教育事務所 社会教育主事 佐藤善昭

秋田県社会教育主事連絡協議会は、会員相互の提携を密にして専門性の確立を図り、社会教育の振興に努めることを 目的として運営されています。今年度の秋田県社会教育主事等研修会は、9月13日(金)に横手市交流センター「Y2(わい わい)ぷらざ」を会場に行われました。当日は、県内各地から社会教育主事や関係者が集まり研修を深めました。

①研修1/「公民館と地域とのつながり~地域の特性を生かして~」

講師:大仙市太田公民館 主幹 安達成年 氏

地域とのつながりを大事にした活動を行っている太田公民館の事業についてお話をいただきました。地域ボラン ティアが長期休業中の子どもたちに学習の手助けをする「太田キッズ学びい教室」事業などの紹介から、地域との連 携の在り方について考えを深めました。

②研修2 「世界遺産平泉と秋田」

課長補佐 講師:岩手県平泉町役場総務企画課 八重樫忠郎 氏

平泉が平成23年に世界遺産に登録されるまでの経緯と活動について お話をいただきました。また、平泉に関係する秋田の歴史についても お話しいただきました。「観光客のためのものではなく、住民のため のまちづくり」が重要であることを再認識しました。

③施設等見学/「後三年の役金沢資料館」・

「平安の風わたる公園」

郷土の文人・戎谷南山の模写による「後三年合戦絵詞」などの歴史 資料を展示している「後三年の役金沢資料館」と「平安の風わたる公園」 を見学しました。三連の橋「雁がね橋」から、後三年合戦の古戦場で ある西沼などの景観を楽しみました。



あきたの生涯学習-まなびピア21-第46号(平成25年11月22日)

編集・発行/ 秋田県生涯学習センター

(所在地) 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1 (TEL)018-865-1171 (FAX)018-824-1799

まなびサポート秋田

秋田県生涯学習センターHP

秋田県生涯学習センターE-mail http://lifelong.akita-kenmin.jp/ http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/ sgcen002@mail2.pref.akita.jp

